

令和 6 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

令和 6 年 1 0 月 2 1 日

学 長 殿

所属部局・職名
(所属・学年) 福島大学大学院 教職実践研究科 1 年

申請者名
(学会参加助成の場合は参加者名)

脇坂 茉里

助成の区分 (該当するものに○)	学会参加助成・学術出版助成・学術論文掲載料等助成
事業名	日本発達障害学会第 5 9 回研究大会
成果の概要	2024 年 10 月 5 日(土)國學院大學たまプラーザキャンパスで開催された「日本発達障害学会第 59 回研究大会」において、ポスター発表に参加した。発表内容は「学習空白のある発達障害の児童生徒を支える学校外ネットワーク構築の試みー学習支援ボランティアの人材育成の視点からー」である。 ポスター発表では主に、他大学の先生方、学生の方々、病院関係者の方など、多くの参加者と発表を通して情報交換をすることができた。事前にプログラム、発表論文集を見て、興味をもって来てくださった方もいた。実際に「学習支援」にさまざまな立場から携わっている方が多く、学習支援を運営する側、学生ボランティアとして活動している側、学習支援が必要な子供たちを側で支える側と、それぞれの視点からの貴重な意見をいただくことができた。今後学習支援の事業を考えている岡山大学の先生からは、「学生ボランティアと支援を受ける児童生徒のニーズ」「学習支援の希望者の集め方」など研究者側からの視点で意見交換をすることができた。また、実際に学習支援をされている学生の方々からは、今回のアンケート調査の結果に共感する声が多く、支援をする側としての悩みや願いなどを聞くことができた。学習支援の事前事後として機能している Y 教室について、興味をもたれた方も多く、「Y 教室の具体的な取り組み内容について教えてほしい」などの声が多く聞かれた。意見交換の時間は、本研究の目的と学習支援のニーズ、今後の方向性などについて再度考えさせられる機会となった。 今回のポスター発表で得られたさまざまな視点からご意見を再度検討し、今後の研究のまとめに生かしていきたい。

